



Exhibition series "Ever-Evolving Worldwide Asian Artists Right Now!"
シリーズ「今、世界で評価され続けているアジア人作家」

靨嘔 レインボー 88 2019.3.16 | sat | - 6.30 | sun |

AY-O: RAINBOW 88



《水金地火木土天海冥・今何時・白亜紀多》
2016年 アクリル、カンヴァス、紐 作家蔵

「虹のアーティスト」として知られ、国際的に活動をしてきた作家・靨嘔(あいおう Ay-O)。
2019年5月19日に88歳の誕生日を迎える作家の米寿を記念して展覧会を開催します。
本展では代名詞である「レインボーシリーズ」の絵画と版画を中心に、1960年代にアメリカで参加した前衛芸術運動「フルクサス」時代の貴重な作品、またエンヴァイラメント(環境芸術)作品などをあわせて展示し、その創造の軌跡をたどります。

さらに、近年手掛ける「恐竜シリーズ」も公開。作家の新たな試みを紹介します。

展示室3 エンヴァイラメント(環境芸術)

渡米した鬮は 1960 年代初頭に前衛芸術運動「フルクサス」に参加します。そこで、物体だけでなくそれを取り巻く環境も作品とする「エンヴァイラメント」を手掛けるようになりました。それは、現在の空間表現である「インスタレーションアート」の先駆けでした。



《ティール・ハウス》
1961年頃 塗装、鏡、カンヴァス、電球
茨城県近代美術館蔵

展示室5 鬮歴史

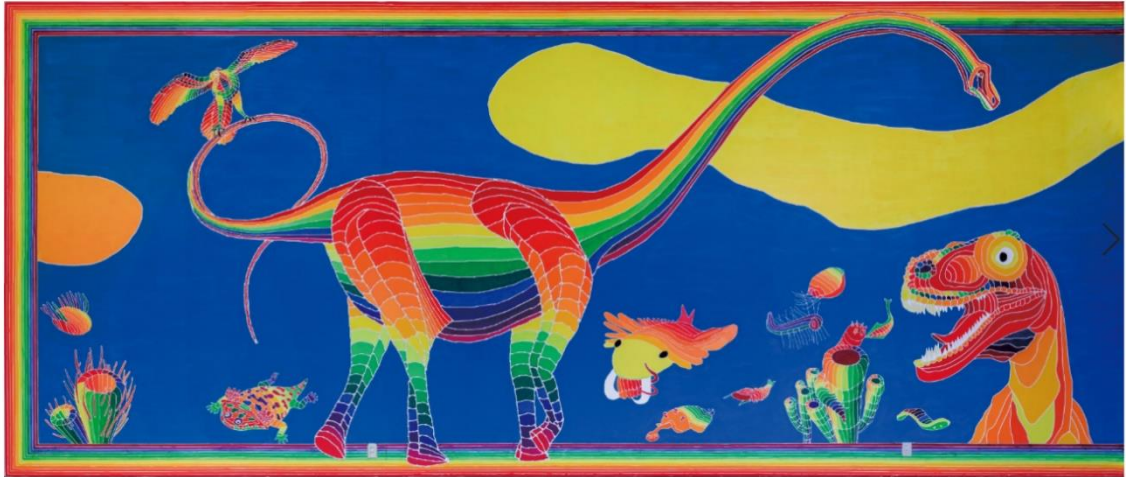
鬮は「レインボーシリーズ」以外にもさまざまな表現を試みました。この展示室では年代順に、初期の抽象表現主義的な作品、その表現に決別を示した作品、「フルクサス」時代に制作した触覚によった代表作《フィンガー・ボックス・キット》などを資料と合わせて展示し、その制作の軌跡をたどります。



《フィンガー・ボックス・キット》
1963年頃 15種類のフィンガー・ボックス、アタッシュケース
作家蔵 *展示作品は写真とはバージョンが異なります。

展示室6 RAINBOW 88

最後の展示室では、近年の「恐竜シリーズ」など、作家の現在を紹介します。今回、茨城県のアトリエにある壁画を展示室にあわせて約 70/100 サイズで再現しました。



《無題(壁画・恐竜)》
2016年 複製プリント (部分)

【作家略歴】

鬚嘔 (あいおう Ay-O)

1931年 茨城県に生まれる。本名・飯島孝雄。

1953年 瑛九が創設した「デモクラート美術家協会」に参加。

1954年 東京教育大学教育学部芸術学科(現・筑波大学)卒業。

1958年 渡米、これ以後ニューヨークを活動の拠点とし日本との行き来を行う。

60年代初頭から前衛芸術運動「フルクサス」に参加。

1966年 第33回ヴェネツィア・ビエンナーレ日本代表として参加。

1971年 サンパウロ・ビエンナーレ日本代表として参加。ブラジル銀行賞受賞。

1987年 300mのレインボーの帯をエッフェル塔にかけるプロジェクトを行う。

1995年 紫綬褒章受章。

2006年 回顧展「虹のかなたに 鬚嘔 AY-O 回顧 1950-2006」(福井県立美術館・宮崎県立美術館)

2012年 個展「鬚嘔 ふたたび虹のかなたに」(東京都現代美術館、新潟市美術館、広島市現代美術館)